

# 車種別取付資料

平成17年 5月10日 作成  
平成23年 4月15日 更新  
BOX No.138901

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

車両情報	ホンダ エアウェイブ	GJ#系	1/3ページ	ES-89Light	Type	N.L.
	平成17年4月～				Opt.	ドアロックリレーNLⅢ (EP070)

## ❶ 注意事項：イモビライザー付き車のみ

- ・イモビライザーシステムが、装着されている車種があります。
- ・この車種には、エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル（受信機に4極コネクタが付いているモデル）のみ取り付けできます。
- ・取り付けの際は、H-2イモビ対応ユニット (FOH02) を使用します。
- ・詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

## ❷ 使用上の注意事項

スマートキー付き車にエンジンスターターを取り付けする場合は、使用上の注意事項があります。2/2ページを必ず参照してください。

- ❸ 注意事項：カーアラーム(ディーラーオプション)付き車は、別売のダイオードハーネス(EP101)の取り付けが必須になります。取り付けが出来ない機種がありますので、取り付け方法とあわせて3/3ページを参照してください。

## A/T車設定が必要な行のみのみ

(A/T車設定作業について) 配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)Pレンジに戻す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

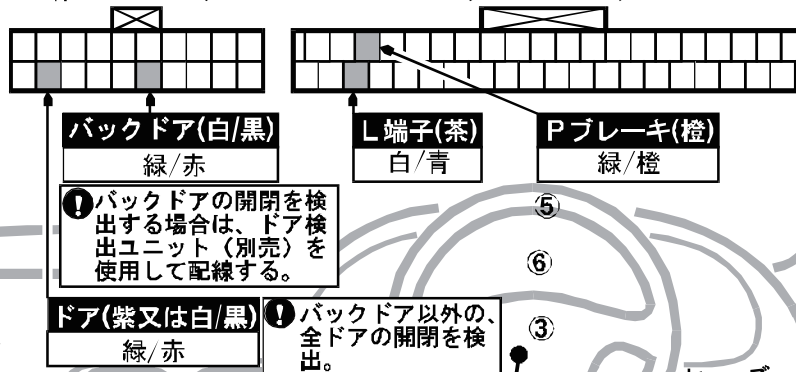
※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2緑色)  
車両配線色

止めネジ等  
ナット ビス 隠れビス

メーター裏中央上側  
青色20Pカブラ

メーター裏右上側  
灰色40Pカブラ



- ❹ 旧Lightは、ドアロックリレーNo.001/NLR (EP028)が必要です。取り付けは、BOX No.200001を参照。

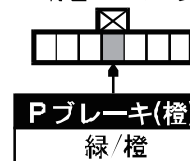
- ❺ ドアロック/アンロックの取り付けについては、2/3ページを参照してください。

- ❻ H116ハーネスの中継カブラは、車両側のテーピングをカットして車両側ハーネスを折り返して、コラムカバーの外側(奥側)で固定すること。(中継カブラをカバーの内側に入ると、コラムカバーが止まらなくなります)

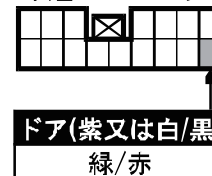
キーシリンダ右上側のイモビアンプレユニット裏側  
緑色7Pカブラ

H-2(比)対応ユニット  
7Pコネクタを割込接続

- ❷ イモビライザー装着車  
イモビアンプレユニット裏側  
緑色7Pカブラ



ヒューズBOX裏下側  
白色16Pカブラ



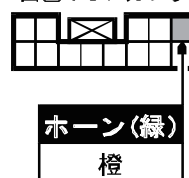
- ❸ バックドア以外の、全ドアの開閉を検出。

## ❹ 運転席側カバー類の外し方

- ① アンダーカバーを外す。(ノブを左側に90度回してから、下側へ引っ張り手前のフックを外す)
  - ② ヒューズBOXカバー(フタ)を、手前に引っ張って外す。
  - ③ コラムカバーを外す。(下側からネジ3本)
- ※以下は、メーター裏側に配線を行う場合のみ外す。
- ④ テルトレバーを一番下に下げる。
  - ⑤ メーターのフードを外す。(手前側に引っ張る)
  - ⑥ メーター本体を外す。(ネジ4本)

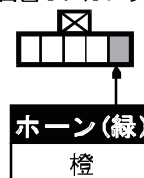
## ❶ マルチマッチトランスミッション インターシステム付き車

コラムカバー内上側  
白色13Pカブラ



## ❷ マルチマッチトランスミッション インターシステム無し車

コラムカバー内上側  
白色5Pカブラ



❶ 機能付き機種のみ配線

コラムカバー内下側  
キーシリンダ直付け

専用ハーネス  
H116  
VH116

# 車種別取付資料

平成17年 5月10日 作成  
平成23年 4月15日 更新  
BOX No.138901

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

車両情報	ホンダ エアウェイブ	GJ#系	2/3ページ	ES-89Light	Type	N.L.
	平成17年4月～				Opt.	ドアロックリレーNLⅢ (EP070)

## ① 使用上の注意事項：スマートキー付き車

※エンジンスターターで始動してアイドリングをした場合は、以下の注意事項を守ってご利用ください。

### ① スマートキーによるエンジン始動はできません。

…以下は、その理由

- ・エンジンスターターでアイドリング中と、STOP操作等でエンジンを止めた後は、キーのノブがロックされて回らなくなるため。…車両の構造なので、異常ではありません。1回エンジンキーにてノブを回せば、その後はノブのみで回るようになります。

### ② 必ずエンジンを止めてから乗車してください。

…エンジンスターターのSTOP操作でエンジンを止める、又はドアタイマー機能を「使用しない」に設定して、ドアを開けたときにエンジンを止める。  
…以下は、その理由

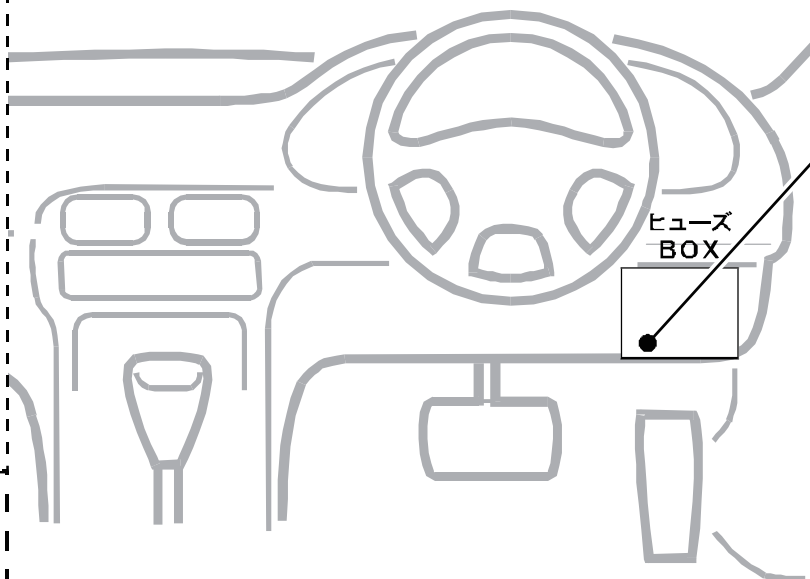
- ・エンジンを止めずに乗車して、エンジンキーでノブをONすると、走行中に車両のセキュリティインジケータ（キーの形をした緑色のLED）が常に点滅したままになるため。

### ③ 乗車後は、必ずエンジンキーで始動してください。

（キーを差し込んで、回してエンジンをかける）  
…理由は、上記①と同じ。

## ① 特有の注意事項（使用できない機能等について）

- （1）オートロック機能は、使用できません。
- （2）セキュリティ機能をセットしてあるとき、エンジンスターターによるアイドリング中に、車両のスマートキーシステムでアンロックを行うと、セキュリティが作動するので注意してください。…セキュリティが作動しますが、異常ではありません。
- （3）エンジンスターターでアイドリング中は、純正キーレスエントリーでのドアロック/アンロックは作動しません。…エンジンを止めてから、操作してください。なお、スマートキーシステムによるドアロック/アンロックは、アイドリング中でも作動します。（アイドリング中は、エンジンノイズ等の影響により、スマートキーの認識感度が悪くなり、作動しない場合もあります）

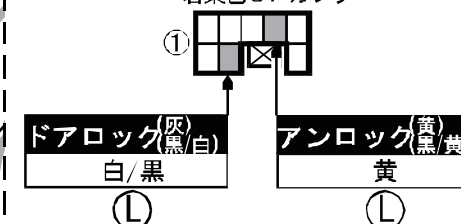


❗旧Lightは、ドアロックリレーNo.001/NLR (EP028)が必要です。  
取り付けは、BOX No.200001を参照。

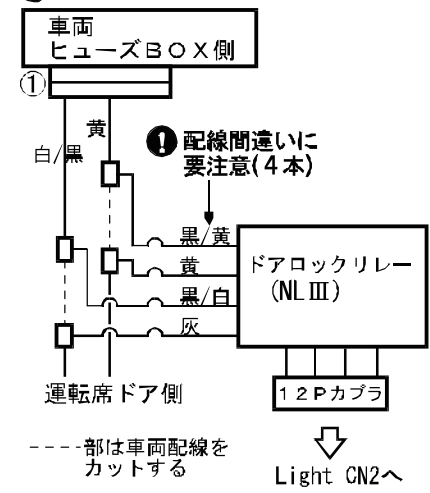
## ドアロック・アンロック

### ① 純正キーレスエントリー装着車

ヒューズBOX内下側 左から2番目  
若葉色8Pカプラ



### ① ドアロックリレーNLⅢが必要です。



配線内容(受信機CN2線色)  
車両配線色

# 車種別取付資料

平成17年 5月10日 作成  
平成23年 4月15日 更新  
BOX No.138901

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

車両情報

ホンダ エアウェイブ  
平成17年4月～

GJ#系

3/3ページ

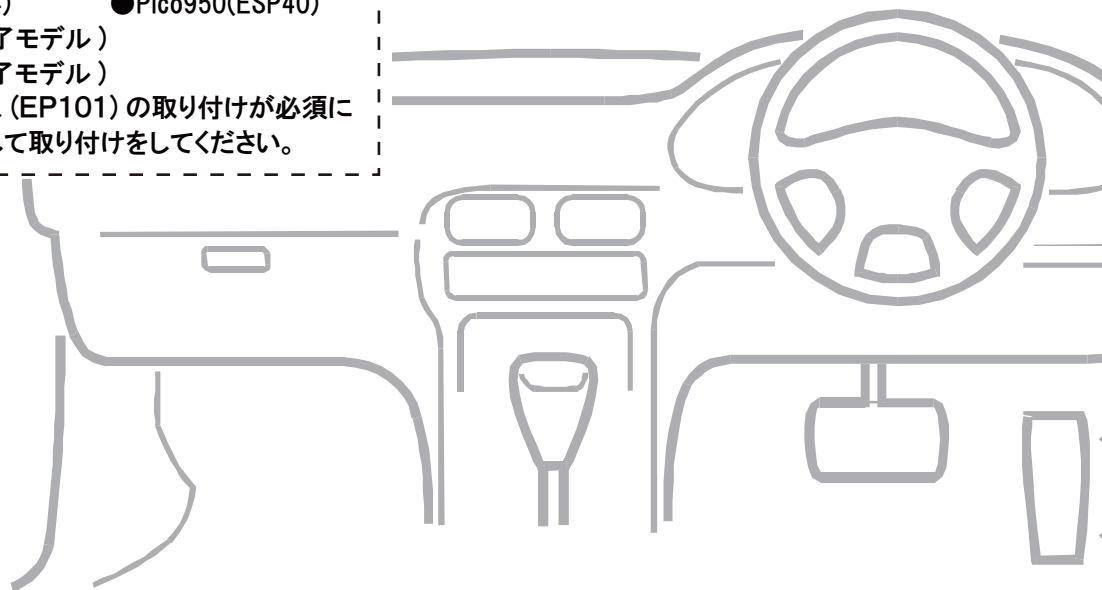
ES-89Light

Type N.L.

Opt. ドアロックリレーNLⅢ (EP070)

## ① 注意事項

- ・カーアラーム（ディーラーオプション）装着車は、下記のモデルのみです。
  - ES-89Pico(ESP11) シリアル: G0131001 以降の製品のみ
  - ES-89ProLightⅡ(ESL24) ●Pico950(ESP40)
  - ES-89ProLight(生産終了モデル)
  - ES-89DualPico(生産終了モデル)
- ・別売のダイオードハーネス (EP101) の取り付けが必須になります。右の図を参照して取り付けをしてください。



## ダイオードハーネスの接続方法

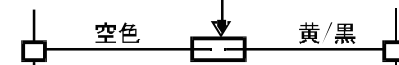
- ① ディーラーオプションのカーアラーム装着車に、エンジンスターターを取り付けする場合は、ダイオードハーネス（別売）を使用して配線が必要です。（ダイオードハーネスを取り付けせずにカーアラームがセットされた状態で、エンジンスターターで始動すると、警報のホーンが鳴ります。）

### ① ダイオードハーネスの配線方法

カーアラーム（用品）のハーネスにテーピングされている2Pカブラ



ダイオードハーネス (EP101)



受信機CN2の空色（ギボシ付き配線）へ接続。

カーアラームハーネス内2Pカブラの黄/黒（ON信号）へ接続。

- ① ダイオードハーネスの配線（空色と黄/黒）は、接続先を間違わないように注意してください。
- ① 使用時の注意事項（カーアラーム装着車）  
エンジンスターター使用時は、必ずSTOP操作でエンジンを停止して、純正キーレスエントリーでアンロック操作をしてからドアを開けてください。（純正キーレスでアンロックしてからドアを開けないと、カーアラームが作動してホーンが鳴るため）

# 車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

## ■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。



❗車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、ⓧの表示をしてあります。

左記の場合、VH116がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

## ■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

### ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しください。

❗製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。  
なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。